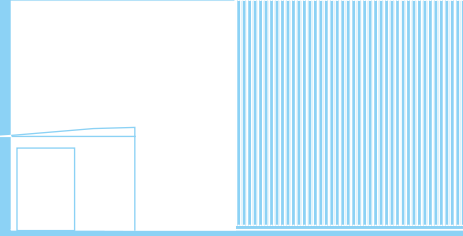
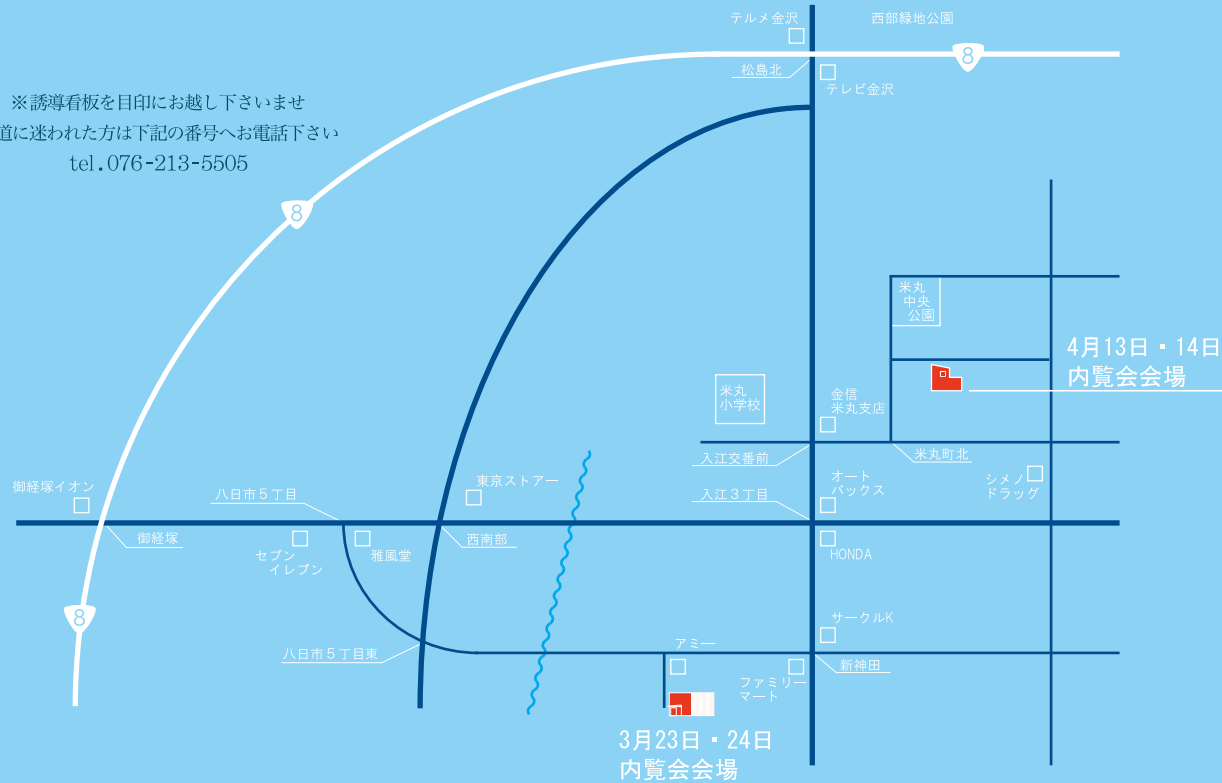


金沢市東力 VOL. 23  
3月23日(土) 24日(日)  
10:00 ~ 18:00

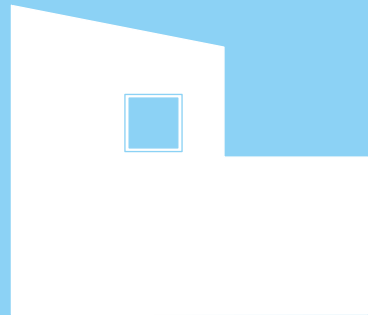


**キレイな家**  
余計なものを排除したら、  
シンプルでキレイな、  
でも、なぜか心落ち着くお家ができました。  
**陰翳礼讃 (インエイライザン)**  
光があるから陰がある。  
まっさらの壁に映るのは、  
窓から差し込む柔らかな光。  
中庭を囲む大きな格子は、  
光と影のコントラストを生み出す。  
新しいけど、どこか懐かしいような、  
陰翳が演出する心落ち着く空間を御体感下さい。

※誘導看板を目印にお越し下さいませ  
※道に迷われた方は下記の番号へお電話下さい  
tel. 076-213-5505



金沢市玉鉾 VOL. 24  
4月13日(土) 14日(日)  
10:00 ~ 18:00



**まっすぐな家**  
奥に伸びた細長い敷地に素直に沿った家  
三方を囲まれているので上にもまっすぐ  
見上げると優しい光が届いてくれる  
そんなお家ができました。  
**晴好雨奇 (セイコウウキ)**  
素敵な景色は天候に左右されない  
首を伸ばした窓からは青い空に流れる雲  
中庭を望む窓からは恵みの雨とシンボルツリー  
周囲が囲まれているなか、  
あえて大きく開くことで生まれた  
気持ちの良い空間を御体感下さい。

日増しに暖かくなり、天気予報の雪マークをすっかり見なくなりまし。待ちに待った春が訪れ、動物達は目覚め、草花は芽を出し活動的になる季節、桜の芽を見ながらお花見の予定を立てずにはいられません。

さて今回は照明計画の一種である間接照明について書きたいと思。この「間接照明」ただ単におしゃれなだけと侮ってはいけません、間接照明は不思議な力を持っているのです。

では、間接照明とはなんですか？

「間接照明」とは照明器具から光を直接当ててではなく、壁や天井などに反射させる照明方法です。

光を一度何かに当てる間接光のため、柔らかい印象を演出する事ができます。また、明るさに濃淡を作りやすい事から、全体的に立体感を生み出し、様々な空間を演出できます。

照らしたものを直接照らせば直接照明であり、何かに反射させていたら間接照明となるのです。どのようにして照らすのかによって、直接照明と間接照明に分かれます。

間接照明を取り入れると、様々なものが得られます。感情的なものでは「癒し」(安らぎ) インテリア的にはより空間を「演出」できるので。

日本の多くの住宅で使われている照明は天井の中心に取り付けた照明器具から床を「直接」照らす照明、いわゆる「シーリングライト」と呼ばれるものなのですが、こちらは清潔感や爽快感はあるものの、空間全体を均一に照らしている為あまり面白くない無機質な印象になりがちなのです。

さらに、人間は上から光を浴びると緊張してしまいやすいのだそうです。これは上からの光に反応して、興奮状態にさせる脳内物質が分泌されるからです。「上から」つまりは天井から明るい光を浴びると、知らないうちに脳が興奮状態となりあなたに「動け！動け！」と指令を出しているのです。

ファストフード店の照明は青白く明るい光が頭の上で輝いていることが多いのですが、これは「人を動かす光」昼の太陽のように「動け、動け」という信号を出している状況になります。この光のもとでは客は落ち着かず、食べ終わるとそそくさとお店を後にしていくのだそうです。

では、少し高めなレストランやホテルではどうでしょうか。ロビーや店内は壁や天井に光を当てる間接照明で空間作りをしています。夕焼け



明りのくつろぎ

のようなオレンジ色の光が壁などを照らしていたり、テーブルの上にはランプやキャンドルを置いていたり、「横から」の光が多く使われています。間接照明によって作り出されるやわらかな「横から」の光の空間は、とても快適でリラックスできる為、心にも体にも癒し効果があるのです。これは「人を引き止める光」この空間のなかで客はくつろぎ、ゆったりとした時間を過ごすことができます。レストランなどで、つい長い居居してしまっているのはこの間接照明が作り出す癒し空間だからなのではないでしょうか。

これを考慮すると仕事場に天井照明の蛍光灯というのは適した使い方です。ですが自宅ではオフの時間をなるべくゆっくり、リラックスして過ごしたいのではないのでしょうか。

そんな場合には間接照明の柔らかな明りが適しているのです。リビングで過ごす食後のリラックスタイム、寝室では就寝前に明日へ備えるゆとりひとときなど、家族それぞれの大切にしたい時間を間接照明を用いた空間づくりで演出してみたいかがでしょうか。

そして、間接照明によって得られるものは癒しの空間だけでなく、空間に広がりを持たせて見せる効果もあります。間接照明が作り出す陰影によって空間をより立体的に見せ奥行きができるのです。

また、壁や天井に埋め込んでしまうようにプランをすると光源となる器具を隠してしまおうのですっきりと見せることができます。

どうしても狭くなりがちな玄関では玄関収納の下に照明を入れて足下を照らすようにすれば広く見せられるばかりか、すっきりと見せることができます。しかもちょっと上品な雰囲気づくりもできるのです。

また、間接照明といっても壁や天井に大きな細工をしなくても作ることができます。方法はとても簡単なものです。擦え置きタイプの明りを置いたり、スポット型のスタンドライトで壁や天井を照らしたりしても簡単にくつろぎ空間ができあがります。

昼間は外からの自然光で明るく爽やかに、夜は間接照明を使って落ち着きのある空間で過ごす、同じ空間でも2つの表情をもたせるのも間接照明の楽しみかもしれません。お気に入りの家具やインテリアなどを組み合わせ、より良い空間で音楽を聴いたり、読書をしたりと癒しの時間を楽しんでみてはいかがでしょうか。